

令和2年度 第3回大農事組合長会議次第

日時・場所：《 令和2年12月22日（火） 》
午前10時 直方・小竹、鞍手地区
午後 1時30分 宮田、若宮地区

【1】開会のことば

【2】あいさつ

【3】説明事項

1. 農業共済からのお知らせ
2. 地域水田（再生）農業推進協議会及び行政からの連絡
3. 営農生活課からの連絡
 - (1) 賦課金の徴収報告について
令和2年11月25日に処理をさせていただきました。
 - (2) 令和2年産米について
 - 令和2年産 水稻の概況 P1
 - 令和2年産 米集荷・検査実績報告 P2
 - 米の概算金振込通知書及び検査格付結果通知票配布依頼 P3
 - レンタルパレットの返却のお願い P3
 - (3) 令和3年産米について
 - 令和3年度 JA直鞍の喜ばれる米づくり運動方針 P4
 - 令和3年産 水稻品種別作付誘導方針 P4
 - (4) プロッコリーの振興について（ふくれん広域販売センター） P5
 - (5) 堆肥を活用した「土づくり」について P6
 - (6) 農薬の安全使用について P7・8
 - (7) 令和2年度農事組合長手当の振込について
令和2年12月末頃にお振込みをさせていただきます。
 - (8) 「日本農業新聞」・「家の光」のご購読について P9・10
4. 経済農機課からの連絡
 - (1) 令和3年産水稻苗の価格変更及び注文について P11・12
 - (2) 令和3年産水稻種子・肥料・農薬、除草剤、土壌改良材、果樹苗木の注文
. P13~17

5. その他

【4】閉会のことば

【提出書類】《 提出先 各グリーンセンター・各支所・営農センター 》

- ◎令和3年産水稻苗注文書
- ◎令和3年産水稻種子注文書
- ◎令和3年産水稻肥料注文書
- ◎令和3年産水稻農薬注文書
- ◎水稻一発除草剤他注文書
- ◎土壌改良剤・果樹苗木の注文書

提出締切日 : 令和3年 1月15日（金）

1 令和2年産水稻の概況

(1) 生育概況

【早期】

田植え：4月14日頃から開始された。4月18日～5月2日を中心に行われた。
 生育：4月の気温はやや低く推移したため、活着が遅れ生育が一時停滞した。
 茎数はやや少なく、草丈はやや低かった。
 出穂期：平年並み。
 収穫：梅雨明けが遅く(7月30日)、登熟期間も日照不足で経過したため、「コシヒカリ」の収穫は早いところで8月13日頃から開始された(平年並み)。
 収量：平年並み～やや少ない。
 品質：昨年よりも向上したが、7月の登熟期が日照不足だったため、白未熟粒や充実不足が見られた。

【普通期】

田植え：5月の連休明けから始まり、順調に行われた。
 生育：7月は長雨で梅雨明けが遅れたため、低温と日照不足により6月下旬以降に田植えをした水稻や「元気つくし」以降の品種で茎数が少ない傾向となった。
 出穂期：やや早い～平年並み。
 収穫：平年並み～やや早い。8月は高温多照で経過したため。
 収量：例年に比べて低い。
 品質：登熟期の高温で「夢つくし」は白未熟粒が発生。また、「元気つくし」も台風9号、10号の影響で白未熟粒が発生し、品質が低下。

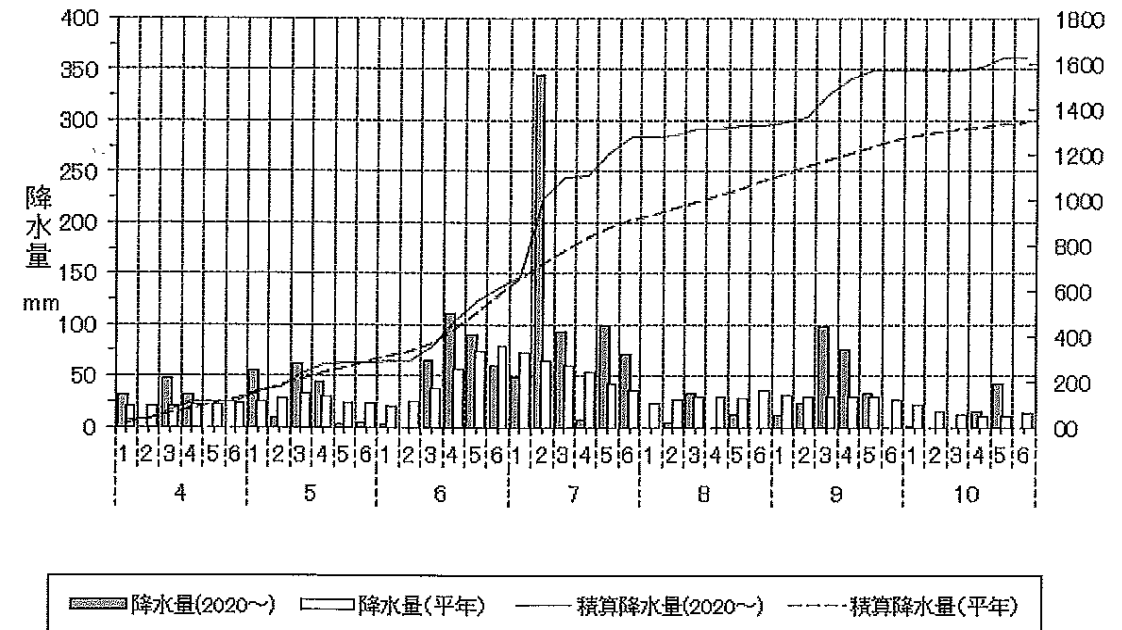
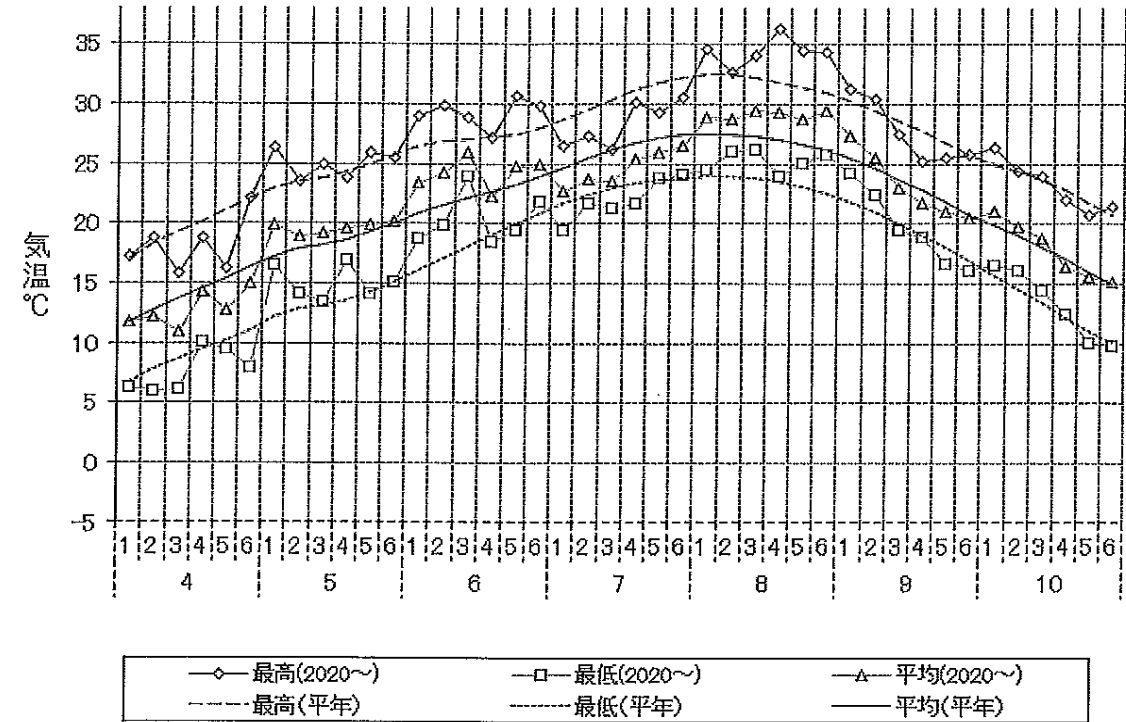
(2) 病害虫について

- ・スクミリンゴガイ：暖冬により越冬数が多く、被害が多かった。
- ・いもち病：7月に多雨と気温が低く経過した影響により発生が多かった。
- ・ウンカ類：5月から飛来し、飛来回数も飛来数も例年になく多かった。8月7日付で警報が出たのち、8月下旬以降「夢つくし」で被害が過去最大となった。

トビイロウンカ発生状況(8月5半旬)

	本年	前年 (多発年)	平年
10株当たり払い落とし虫数(頭)	194.8	59.5	12.3
発生ほ場率(%)	89.1	87.0	47.3

○坪枯れ(夢つくしほ場)



※福岡県病害虫防除所データより

令和2年産 米集荷・検査実績表(主要品種)

2020年12月7日 現在

①JA米・加工米集荷実績

単位:俵

品種	等級	コシヒカリ				夢つくし				元気つくし				ヒノヒカリ				その他うるち米				ヒヨクモチ				合計
		1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	
JA米	R元年		432.0		432.0	6,537.0	16,402.5	2,078.5	25,018.0	2,747.0	701.5	48.5	3,497.0	1,647.0	1,967.5	147.5	3,762.0		174.0	72.5	246.5		50.5	66.5	117.0	33,072.5
	R2年	227.0	17.0		244.0	4,099.5	18,535.0	1,019.0	23,653.5	864.0	1,996.0	631.5	3,491.5	125.5	2,262.5	184.0	2,572.0	59.0	199.5	50.0	308.5		44.5	41.0	85.5	30,355.0
加工米	R元年					171.0	212.5		383.5	18.5			18.5	223.0	126.5	3.0	352.5	21.0			21.0				775.5	
	R2年					1.5	179.5		181.0				0.0	78.5	181.5	21.5	281.5				0.0				462.5	
合計	R元年	0.0	432.0		432.0	6,708.0	16,615.0	2,078.5	25,401.5	2,765.5	701.5	48.5	3,515.5	1,870.0	2,094.0	150.5	4,114.5	21.0	174.0		267.5		50.5	66.5	117.0	33,848.0
	R2年	227.0	17.0		244.0	4,101.0	18,714.5	1,019.0	23,834.5	864.0	1,996.0	631.5	3,491.5	204.0	2,444.0	205.5	2,853.5	59.0	199.5	50.0	308.5		44.5	41.0	85.5	30,817.5
	1等米比率	93%				17%				25%				7%				19%				18%				

②JA米・加工米市町村別出荷数量

市町村名	直方市				小竹町				宮若市(宮田地区)				宮若市(若宮地区)				鞍手町				合計
年産 等級	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	
R元年	973.0	668.0	63.0	1,704.0	587.0	1,651.5	73.5	2,312.0	2,398.0	3,786.5	831.0	7,015.5	5,162.0	5,759.5	212.5	11,134.0	2,244.5	8,201.5	1,236.5	11,682.5	33,848.0
R2年	238.0	771.0	421.0	1,430.0	20.0	1,576.4	263.0	1,859.4	987.5	5,012.9	285.0	6,285.4	2,931.0	6,556.2	236.5	9,723.7	1,278.5	9,499.0	741.5	11,519.0	30,817.5
前年比	24%	115%	668%	84%	3%	95%	358%	80%	41%	132%	34%	90%	57%	114%	111%	87%	57%	116%	60%	99%	91%

③出荷数量実績

市町村	品名 年産	JA米		加工用米		備蓄用米		米粉用米		飼料用米		合計		前年比
		R元年	R2年	R元年	R2年	R元年	R2年	R元年	R2年	R元年	R2年	R元年	R2年	
直方市		1,662.0	1,430.0	42.0				1,492.0	1,636.3	1,467.5	1,000.0	4,663.5	4,066.3	87%
小竹町		2,312.0	1,859.4							1,531.3	1,220.7	3,843.3	3,080.1	80%
宮若市		17,416.5	15,546.6	733.5	462.5					4,432.2	3,622.0	22,582.2	19,631.1	87%
鞍手町		11,682.0	11,519.0			659.0	374.5			1,074.7	1,681.0	13,415.7	13,574.5	101%
合計		33,072.5	30,355.0	775.5	462.5	659.0	374.5	1,492.0	1,636.3	8,505.7	7,523.7	44,504.7	40,352.0	91%

令和2年12月22日

大農事組合長各位

直鞍農業協同組合
営農生活課

令和2年産米概算金振込・検査格付通知書配布のお願い

寒冷の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、令和2年産の米の検査につきましては、おかげをもちまして終了致しました。

今年は、台風や長雨の影響で収量・品質低下とウンカの大発生により、作況指数が平年を大きく下回る結果となりました。

つきましては、JAに米を出荷いただいた方へ個別に米の概算金振込通知書及び検査結果格付通知票を同封していますので、各小組合長へ配布いただきますようお願い申し上げます。

※格付通知票は、令和2年8月～11月の検査分を同封しています。

以上

ご質問・お問合せは下記まで
JA直鞍 営農センター
TEL 32-3755
担当 稲垣、吉田

レンタルパレットの返却について

令和2年産の米入庫時に貸出致しましたレンタルパレット

(UPR) 木製13型の返却が遅れております。

レンタルパレットのリース料は、1か月1枚当たり約270円の経費が掛かっております。各倉庫において返却・出庫・はい付け等でパレット数量が集まり次第、随時返却しておりますので、まだご返却がお済みでない方は、営農センターまで至急ご連絡の上、ご返却して頂きますようよろしくお願い致します。

尚、破損・紛失については、1枚当たり5,000円頂く場合がございます。

ご連絡先

営農センター 0949-32-3755

担当 稲垣・河崎

令和3年度 JA直轄の喜ばれる米づくり運動方針

1. 目的

米の消費や人口の減少等が見込まれるなか、米の需給調整については、国が策定する需給見通しを踏まえつつ、生産者や集荷業者・団体が中心となって需給に応じた生産を行う仕組みとなっている。

このような状況を踏まえ、米づくりの持続的な発展を図るには、これまで以上に消費者重視・品質重視の考えのもと、消費者・実需者はもとより生産者からも喜ばれる、JA直轄の米づくり推進を行い、水田農業の担い手の経営を支えることが重要です。このため、生産者と一体になって展開していくため、下記の重点項目を遵守する。

2. 重点項目

- ①種子更新 100%
- ②品質の向上 1等米比率70%以上
- ③田植日 6月10日以降（高温障害対策）
- ④玄米水分 目標 14.5%
- ⑤ふるい目 1.85mm以上
- ⑥全量集荷の推進 目標 40,000俵
- ⑦生産履歴（100%提出） 全生産者への記帳の徹底（常時開示可能）

3. 重点方針

1) おいしい米づくり

- ①適地適作を基本とした県育成良食味品種の生産推進
- ②実需者の需要に応じた作付誘導の推進
- ③食味分析の活用とそれに基づく栽培指導の徹底
（玄米タンパク質含有率6.8%以下）
- ④県育成高温耐性品種の導入検討

2) 安全・安心な米づくり

- ①生産履歴の全生産者による記帳と情報提供
- ②適期防除による農薬使用回数の低減
- ③農薬の飛散防止（ドリフト）
- ④残留農薬検査の実施

3) 品質向上と作柄安定

- ①高温耐性品種の作付による収量・品質の向上
- ②適期移植や適正施肥による高温障害の回避
- ③いもち病、ウンカ類等病害虫に対する持続効果の高い箱施薬の使用

4) JA米の要件

- ①品種が確認できた種子により生産した米穀
- ②登録検査機関で農産物検査を受検した米穀
- ③生産基準に基づき栽培され、栽培履歴記帳を確認した米穀

令和3年産 水稻品種別作付誘導方針

1. 極早生品種

【コシヒカリ】

直轄米及び減減米の契約栽培として、直売所で有利販売して行く上で重要な品種であり、特定の地域で、団地化を図る。

【夢つくし】

直轄で最も多く作付されている良食味で、消費者の評価も高い品種であるが、いもち病に弱い栽培技術の徹底を行い適期防除に努める。

また、極端な早植えは縹葉枯病の発生や品質（心白等）・食味が低下する恐れがあるので、早期栽培や早植えは抑制する。

2. 早生品種

【元気つくし】

良食味品種であり、登熟期間中の高温条件下でも品質低下が少ない。田植は、6月中旬以降とし、いもち病にも弱い栽培技術の徹底を行い、ブランドの定着を図り、需要に応じた作付けを行う。

3. 中生品種

【ヒノヒカリ】

平坦地での移植時期は登熟期の高温障害対策のため、6月中旬以降の田植とし、土壌の肥沃度に応じて適切な施肥を行う。

【実りつくし】

ヒノヒカリよりも良食味で多収品種で、登熟期間中の高温条件下でも品質低下が少なく、安定多収栽培技術の確立に努める。しかし、いもち病に弱く、成熟期もヒノヒカリより7日～10日程度遅い。

[JA直轄 水稻品種別作付誘導目標]

(単位/ha)

年度 品種名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 誘導	令和4年度 計画
コシヒカリ	11	6	6	6
夢つくし	1,351	1,349	1,300	1,300
元気つくし	211	220	240	250
ヒノヒカリ	289	283	300	310
実りつくし		16	30	40
その他	56	45	44	24
ヒヨクモチ	20	22	20	10
合計	1,932	1,941	1,940	1,940

(※作付面積は、農業共済のデータを参照)

ブロッコリーの振興について

現在: 令和2年 12月16日

① 作付実績・誘導目標

項目	前年実績	進捗状況	誘導目標	
	令和1年	令和2年	令和2年	令和3年
生産者	16名	22名	-	-
栽培面積(a)	500	807	800	1000
収穫量(t)	29	76	72	90
販売金額	635万円	1810万円	1,800万円	2,250万円

② 品種別作型表

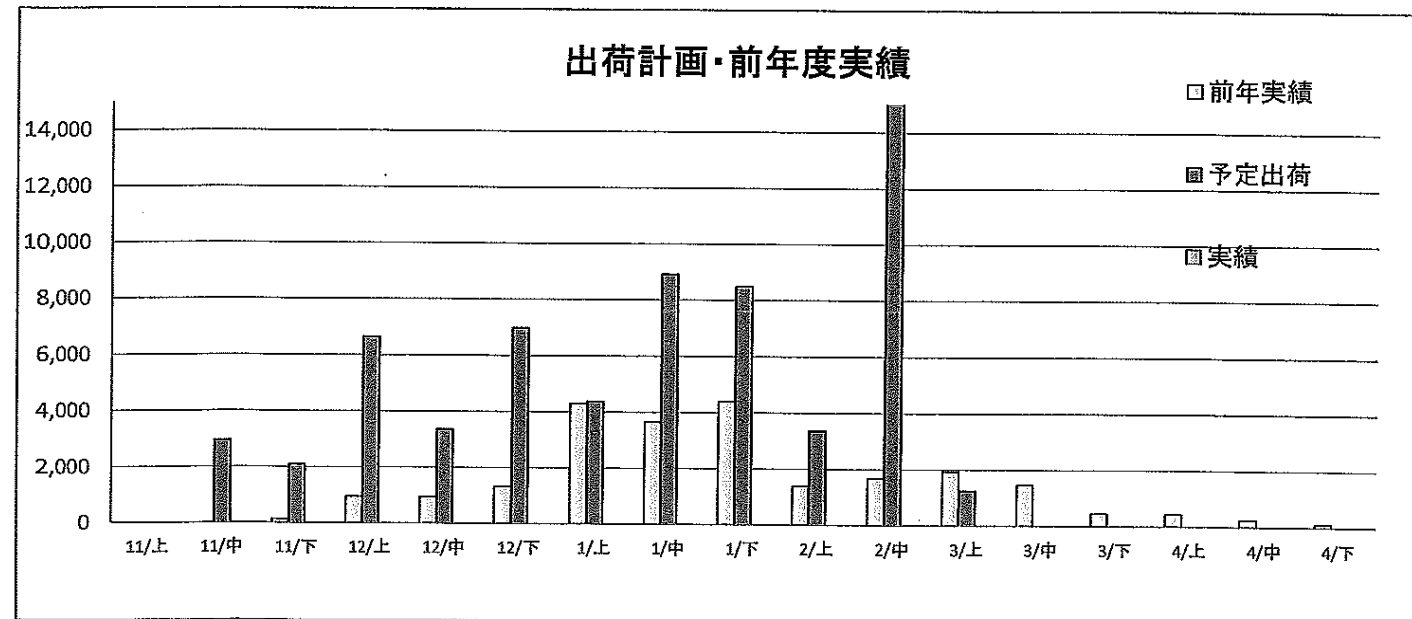
品種	播種期	定植期	収穫期	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
おはよう	8/5~8/26	9/3~9/25	11/中~1/中	○	△						
グラドーム	8/12~8/26	9/10~9/25	12/下~2/上	○	△						
かつみ	8/19~9/2	9/18~10/2	1/中~2/下	○	△						
彩麟	8/19~9/2	9/18~10/2	12/下~2/中	○	△						
ともえ	8/26~9/2	9/25~10/2	1/下~3/上	○	△						
クリア	9/2~9/9	10/2~10/10	2/上~3/上	○	△						

○: 播種 △: 定植 ■: 収穫

③ 定植実績及び予想収穫量

品 種	面積(a)	予想収穫量(株)	品 種	面積(a)	予想収穫量(株)
おはよう	129	36,186	晩緑99	30	8,415
こんにちは	123	34,503	恵麟	25	7,013
グラドーム	198	55,543	ピクセル	16	4,488
クリア	171	47,968	ともえ	15	4,208
彩麟	50	14,025	エンデバーSP	10	2,805
アーサー	40	11,220			
			合 計	807	226,374

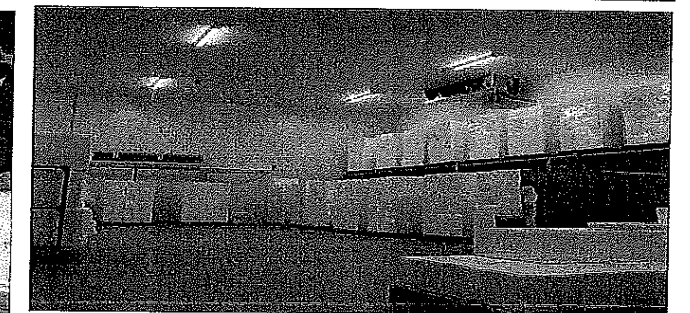
④ 令和2年産出荷計画・前年度実績表



県北地区広域販売センター



直方市頓野字羽高2777-1



日本農業新聞【令和2年12月26日(水)記事】

堆肥を活用した「土づくり」について

アグリ土づくりセンター

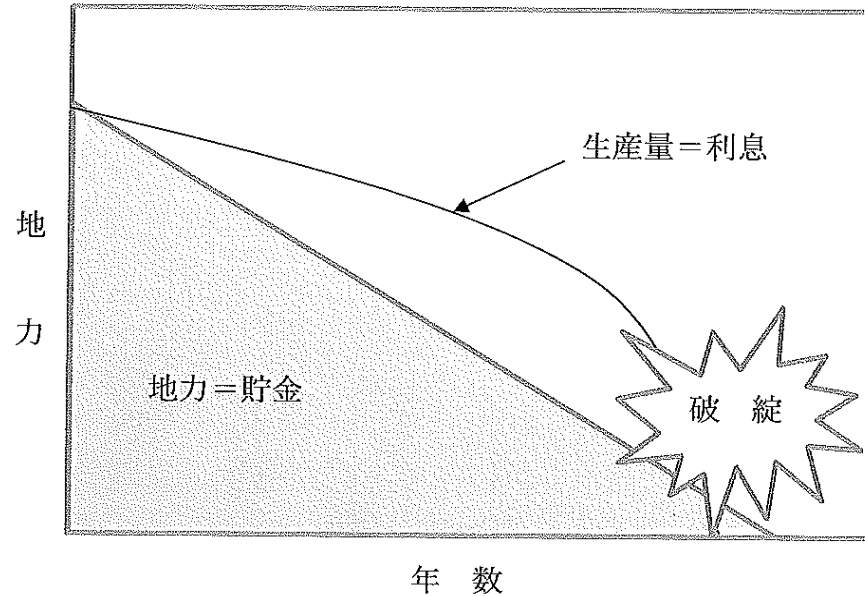
「農業は、土地の地力という貯金から発生する利息をいただく産業である。」

農業は土地の地力という貯金から発生する農産物（利息）を収穫するものです。最近、土地利用作物である米・麦・大豆の収量や品質の低下が全国的に問題となっています。

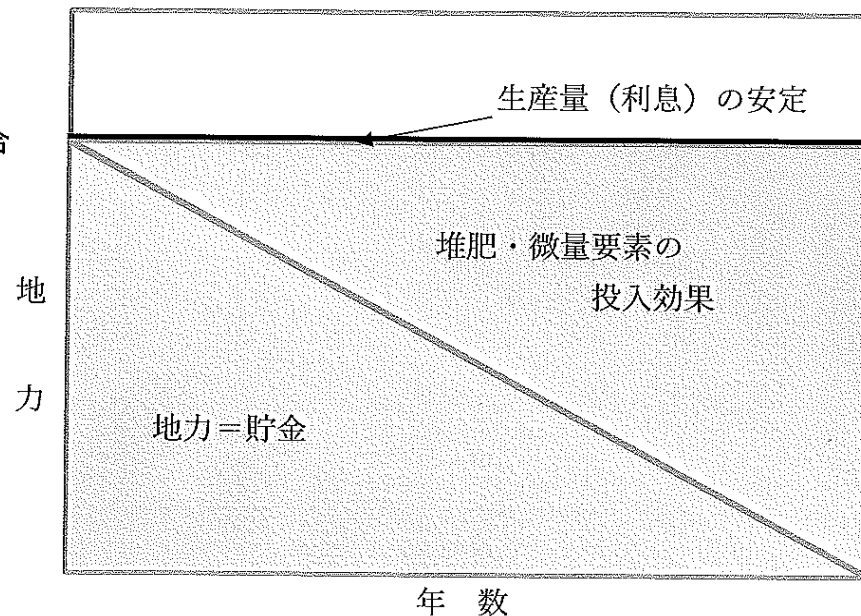
農地に化学肥料だけの投与で生産性を上げることは一見よく見えるものですが、地力という元本まで手を付けて貯金を減らしている状況では、地力低下によりいずれ破綻します。JA直鞍では、「アグリ土づくりセンター」の堆肥の利用促進をはかり、地力の維持改善による農産物の生産安定を支援します。

地域でまとまって堆肥を散布したいなどのご要望等ありましたら、アグリ土づくりセンターまたは営農センターまで、ご相談ください。

○有機物を投入しない場合



○継続して有機物を投入した場合



利用普及価格です

☆直取り（アグリ土づくりセンターに取りに来られる場合）
通常価格3,500円を

1,000円/軽トラ1台

軽トラ以外は

3,000円/トン（計量）

☆配達のみ

通常価格8,000円を

6,500円（2トン車1台）

☆配達・散布（10a当たり2トン）通常価格9,000円を

散布面積3ヘクタール未満 **8,300円**

散布面積3ヘクタール以上 **7,800円**

☆園芸用堆肥 4,800円/立米（直取り）

配達9,500円/2tダンブ

お申し込み・お問い合わせは

JA直鞍 アグリ土づくりセンター

鞍手町室木189-1

TEL 0949-43-1175

県内で、農薬の不適切な使用が発覚し、マスコミ等に取り上げられ大きな問題となりました。

この影響で、当該産地での野菜の破棄処分、スーパーや農産物直売所等での野菜の売れ行き不振等、一人の問題が多くの関係者を巻き込んだ大問題へと発展しました。

直売所・市場等で販売される生産者の方は、農薬の安全使用について再度注意をお願いいたします。

購入から、後片づけまで。農薬安全使用のポイントをおさえましょう!



よくわかる! 農薬適正使用のポイント

～責任を持って使うために～

お問い合わせ先

<p>公益社団法人 緑の安全推進協会 〒101-0047 東京都千代田区 内神田3-3-4 TEL.03-5209-2511 FAX.03-5209-2513 www.midori-kyokai.com</p>	<p>農業工業会 〒103-0025 東京都中央区 日本橋茅場町2-3-6 京和ビル4階 TEL.03-5649-7191 FAX.03-5649-7245 www.jcpa.or.jp</p>
--	--

◎農薬に関する相談や、農薬の安全性と適正使用などに関する講師派遣のお問い合わせは
(公社)緑の安全推進協会 TEL.03-5209-2512

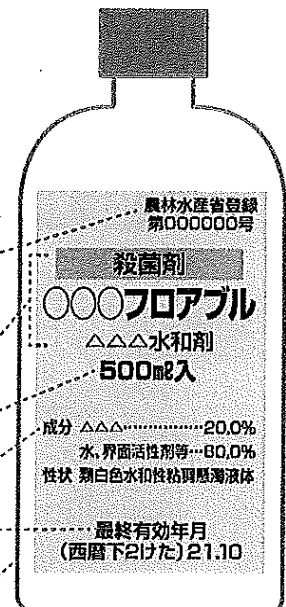


1: まずは、登録状況をチェック!

●農林水産省登録のある農薬を購入しましょう

使いたい作物や防除したい病害虫(雑草)など、目的にあった登録農薬を選びましょう。また、使い切れるような数量を計画的に購入しましょう。

- ラベルの見方
- 農林水産省「登録番号」があることをチェック
 - 用途や剤型を確認
 - 必要な薬量を確認
 - 有効成分名を確認
 - 最終有効年月をチェック
 - 裏面の適用表で、作物名と病害虫(雑草)名を確認



◎詳しくは右のリーフレットをご覧ください
「農薬を正しく使って確かな収穫!」
「農薬は責任を持って正しく使いましょう!」



2: 詳しい使い方を確認!

●使用回数のカウント間違いに注意

農薬の使用回数は、製品だけでなく、その農薬に含まれる有効成分ごとに制限があります。特に複数の農薬を使う場合は注意し、使用回数を守りましょう。

(適用表イメージ)

作物名	適用病害名	希釈倍率(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	ΔΔΔを含む農薬の総使用回数	使用方法
トマト	葉かび病	1,000	100~300 ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	3回以内	散布
	疫病	1,000~1,500					
ミニトマト		1,500				2回以内	

●間違えやすい作物名があるので注意

例えばトマトとミニトマトのように、名前が似ていても農薬の登録上では別作物の扱いになるものがあります。間違えて使用すると、残留基準を超過する可能性があるため注意しましょう。

◎詳しくは右のリーフレットをご覧ください
「あっ! その作物には使えないよ!」
「使用回数カウントできてる?」



3: 保護具を着用しよう!

適切な保護具を選び、しっかり着用しましょう。使用農薬の調製準備から防除器具の洗浄終了まで、適切な保護具を着用しましょう。製品ラベルの注意事項に「注意喚起マーク」の表示がある場合は、マークの内容に従った保護具の着用が必要です。



散布中や作業後に異常を感じた場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

◎農薬の中毒に関する緊急問い合わせ先
公益財団法人 日本中毒情報センター
大阪中毒110番:072(727)2499(24時間)
つくば中毒110番:029(852)9999(9~21時)

◎詳しくは右のリーフレットをご覧ください
「知って得する! 保護具の知識」
「きちんとマスクをつけよう!」



きちんと使えば、みんなが安心。農薬の正しい使い方をマスターしましょう!



4: 事前周知! 飛散防止!

●散布スケジュールを事前に連絡しましょう
近隣農家や周辺住民に農薬散布のスケジュールを連絡し、十分にコミュニケーションをとりましょう。また、使用日時・使用農薬・連絡先などを記した書面や看板を設置するなど、事前の周知を促しましょう。



●周辺環境に飛散・流入しないよう配慮しましょう
農薬が飛散すると作物だけでなく、人や動物、魚、ミツバチ、蚕などに被害が及ぶ恐れがあります。散布は風の弱い早朝や夕方に行い、天候が悪い時は中止しましょう。飛散低減ノズルやカバーの使用、飛散防止ネットの設置など、いくつかの対策を組み合わせると効果的です。



◎詳しくは右のリーフレットをご覧ください
「飛散防止のポイント」

5: 散布履歴を記帳しよう!

●安心・安全な作物づくりに、記帳は欠かせません
農薬散布の記録は、農薬使用者が達成に努めるべき義務として、法律で規定されています。記録は以後の農作業の参考になり、農作物の安全の証明にもなります。

●詳細な記録は、安全使用の証明になります

作業後は、右のような項目をかならず記帳し、最低でも3年間は保管しましょう。もし、問題が発生した場合、作業の内容を証明できる唯一の手段になります。

〈記帳例〉

1.使用年月日
2.使用場所
3.作物名
4.農薬名
5.濃度(希釈倍数)及び使用量
6.使用器具、使用方法
7.病害虫、雑草名
8.収穫年月日
9.その他(使用時の天候など)



◎詳しくは右のリーフレットをご覧ください
「しっかり記帳できちんと管理!」

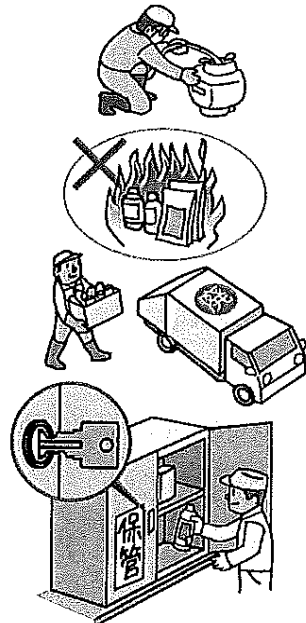
6: きちんと後片づけ・保管をしよう!

●後片づけをきちんとしましょう

散布器具、ホース等は十分に洗浄し、河川等に洗浄水が流入しないよう注意しましょう。また、空容器や空袋は野焼きをしたり圃場に放置したりせず、業者に委託するなど適切に処理しましょう。

●安全な場所にカギをかけて保管しましょう

農薬の誤飲や誤使用などを防ぐため、食品と区別し、飲料の空容器などへ移し替えたりせず、高齢者や小児の手の届かないところにカギをかけて保管しましょう。



◎詳しくは右のリーフレットをご覧ください
「農薬はきちんと保管して正しく使いましょう!」
「きちんと後片づけをしよう!」

必要な情報を農薬工業会WEBでチェック!

●さまざまな疑問・質問にお答えしています
農薬工業会ホームページでは「農薬をご使用になる方へ」の専用ページを開設。農薬使用者から寄せられたさまざまな疑問・質問にQ&A形式でお答えしています。「農薬工業会」で検索してください。

●「農薬の正しい使い方」を動画で視聴できます
農薬製品ラベルの見方から調製、散布、保護具、後片づけまで一連の作業を解説しています。



農薬工業会 検索

◎詳しくは右のリーフレットをご覧ください
「農薬使用の「ハテナ?」にお答え!」



情報の 力で、 支えたい。

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
 www.agrinfo.co.jp

常に農家の幸せを
 第一に考えた報道により、
 日本の食と農を応援します。



知る、活かす、つなぐ～JAグループ情報共有運動

生産現場を「支える情報」 2つの柱でお届けします。

営農を支える。

有利販売

気候の変動や輸入の影響を追い、例年と違う値動きを注視します。所得の安定へ、複数年契約など契約取引の情報も充実します。



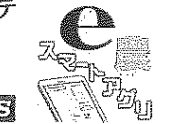
流通トレンド

注目の品種・品目を随時取り上げます。売り場から産地までを一体的に取材し、ヒットの理由を探ります。



省力化

スマート農業など最先端の動きや事例に迫ります。新規就農者や後継者からベテラン農家まで役立つ情報を強化します。



地域を支える。

事業承継

世代交代を迎えたときに誰に農業を任せるか——。委ねる農家、受け継ぐ農家それぞれの思いや課題の乗り越え方も含めて伝えます。

JA自己改革

農業者や地域住民に頼られるJAの優れた取り組みを、引き続きたくさん取り上げます。JAの経営基盤強化に役立つ情報も充実します。



農業政策

家族農業や中小規模農家を重視する農政の基本方針は決まりましたが、生産現場で生かされるかが重要です。「基(もと)」の行方を重点報道します。



THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS 〒102-8409 東京都千代田区一番町 23-3
 日本農業新聞 *2020年11月下旬より下記へ移転予定
 〒110-8722 東京都台東区秋葉原 2-3 <https://www.agrinfo.co.jp>

日本農業新聞

お近くの新聞販売店から毎日お届けします。
 購読のお申し込みは、あなたのJAまで

購読料 月極 **2,623円** (税込) 本体価格 2,429円

日本農業新聞 購読申込書

年 月から購読します。

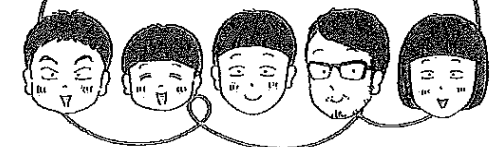
フリガナ	フリガナ		
氏名	世帯主		
フリガナ			
住所			
電話番号	取扱い JA名	JA	
備考			支店・支所

個人情報は適切に管理し、日本農業新聞の配達など購読に関する業務に利用させていただきます。

12月号から新連載がスタート!

コミックエッセイ
SDGsを考えながら
暮らししてみた

子育てエピソードや日々の食卓を撮影したインスタグラムで人気のマンガ家マルサイさん。マルサイ家の日常の中で、SDGsにつながることをクローズアップしていきます。



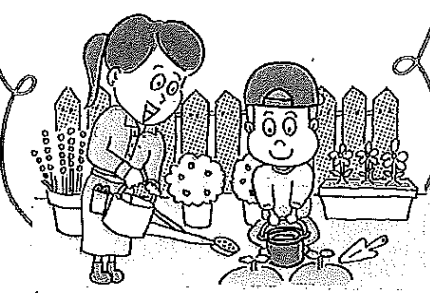
コミックエッセイ
こざる探偵が行く!

生花店を営むマンガ家の花福こざるさんが日々の暮らしの中の素朴なギモンを独自の嗅覚で探ります。



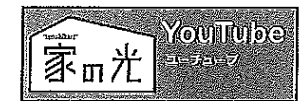
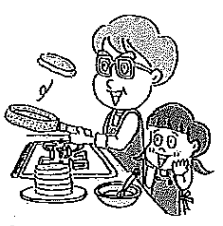
ガーデニング
なんでも相談

おうち時間の増加で人気が高まってきたガーデニングトレンド紹介&素朴な疑問に答えます。



家でコロナに負けるな!
家活

“家活”とは、「家の光」の記事活用
自分のために、家族のために、
「家の光」を活用しておうち時間を充実させましょう!



ワクワク! 役立つ
動画がいっぱい!

12月号からの実用記事 (掲載予定)

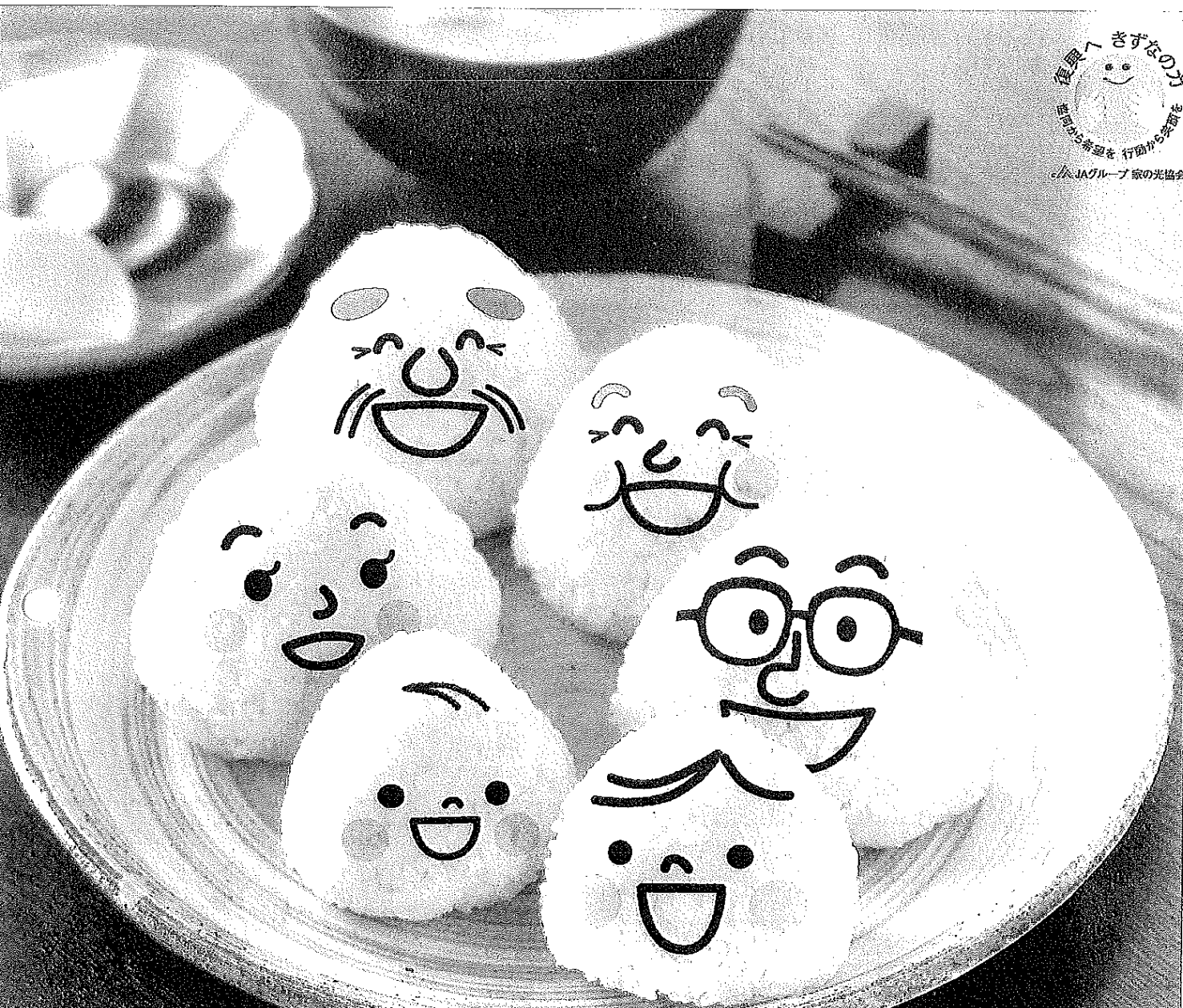
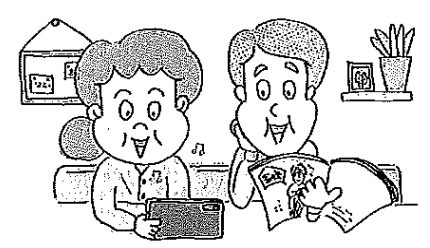
12月号	美活おせち
1月号	冬の肌トラブル これ解決!
2月号	重い物も楽に“持つ&運ぶ”ワザ
3月号	賢い服のたたみ方講座
4月号	禁断のとろけるホットケーキ

※企画のタイトル・内容は変更することがあります。

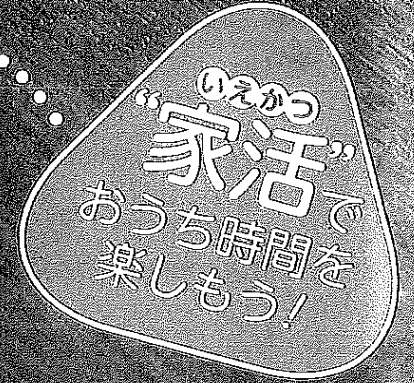


誌名	月号	定価(税込)
家の光	普通月号	629円
	付録月号(1・4・5・7・9月号)	922円
	付録月号(家計簿付き12月号)	1,027円
地	普通月号	618円
	付録月号(4・11月号)	680円
ちゃぐりん	普通月号	492円
	付録月号(1・4・8月号)	576円

年6回別冊付録付き!



あらためて気づいた 食と農、家族のたいせつさ



切り取り線

JA 御中 購読申込書 月払い

家の光・地上・ちゃぐりんを 月号 から購読します。

ふりがな _____

お名前 _____

〒□□□-□□□□ _____

住所 _____

電話番号 () _____

支払方法 JA口座より振替 現金

◎購読開始月号ほか必要事項を記入し、希望する購読誌名・支払方法を○で囲んでください。

◎ご記入いただいた個人情報は、注文以外の用途には使用いたしません。